

CARE & MAINTENANCE

JOY OF OUTDOOR LIVING

 **NICHIESU**

CARE & MAINTENANCE

CONTENTS

- 01 屋外家具 使用上のご注意とお手入れ方法
 - 安全上のご注意
- 02 アルミ製品
 - ロートアイアン、スチール製品
- 03 ステンレス製品
 - レジン(樹脂)製品
- 04 チーク製品
- 07 ウェルザリッツ天板
 - HPL天板
 - セラミック天板
- 08 バティライン
 - デドンファイバー
 - ROM(ポリウッド)
- 09 ロープ
 - パラソル
- 10 アウトドアクッション
- 12 アウトドアファブリック
- 14 塗装
- 15 お手入れ用品

屋外家具 使用上のご注意とお手入れ方法

屋外での家具使用は屋内使用に比べ、雨やホコリ、紫外線等の悪条件の中で酷使されています。屋外家具はそのような過酷な使用環境を考慮した素材や仕上げで製造されていますが、長期間美しく快適にご使用いただくためには定期的な、またその都度の適切な点検とお手入れが必要です。また冬期等長期間ご使用にならない時は屋内に保管されるか、カバー等で保護することをお願いします。ニチエスでは60年以上に渡る屋外家具製造、販売の経験にもとづき、それぞれの材質に適切なクリーニング用品や保護カバーを取り揃え、お手入れ方法の情報をご提供しております。

安全上のご注意

●点検

破損や摩耗、修理が必要な状態の家具のご使用は危険です。定期的、その都度の点検の実施をお願いします。特に溶接部、ネジ、ボルト、リベット等の締め付け部は注意深く目視で点検し、もし割れや破損があれば使用を中止し、ゆるみがあれば増し締めをしてがたつき等が無いことを確認してご使用下さい。

●使用上の注意

折り畳み機構のある家具では折り畳み部に指を挟まないように注意が必要です。

デッキチェア等の背角度調整機構のある家具では、使用中に体重がかかった状態で角度調整の操作を行うことは、背の急激な落下や指等の身体を挟む危険性がありますので、必ず体重等の負荷がかからない状態で操作をして下さい。

風の強い状況ではパラソルを閉じ、天幕が風で煽られたりバタつかないように、ひもでしっかり結び使用を中止して下さい。

台風等の強風が予想される時は、パラソルをベースから抜き安全な場所に収納してください。パラソルをテーブルのセンターにさして使用する場合は15kg以上の重量のベースを使用し、自立した状態で使用する場合は30kg以上のベースを使用し、パラソルの支柱がベースに確実に取り付けられていることを確認して下さい。

アルミ製品

アルミは錆びにくいので屋外家具には非常に適した素材です。通常アルミ製家具の表面にはアルマイトや樹脂塗装がほどこされていますので、定期的なクリーニングだけで長くお使いいただけます。クリーニング方法は柔らかい布やスポンジに中性洗剤を含ませて汚れを洗い落とし、その後水洗いで洗剤を完全に流しとります。塗装仕上げの製品は車用のワックスをかけると表面の輝きが増し、塗装の色調を美しく保ちます。塗装面にキズがついた場合は塗装色と同色のペイントを刷毛でレタッチします。アルマイト処理の製品表面に白い粉状のさびが発生した場合は、アルマイト製品専用クリーナー アル・リストラー（ゴールデン ケア社製）で汚れを取り、その後アル・プロテクター（ゴールデン ケア社製）を塗り表面を保護します。

ロートアイアン、スチール製品

鉄は酸化すると赤いさびを発生しますが、高強度で耐久性に富み経済性にも優れた家具材料です。下地に亜鉛メッキや十分な防錆処理を施し、良質の塗装を施したロートアイアンやスチール製品は適切なメンテナンスにより、長期間の屋外使用にも耐えます。クリーニングはできるだけ頻繁に行い、柔らかい布やスポンジに中性洗剤を含ませて汚れを洗い落とし、その後水洗いで洗剤を完全に流し取った後、水滴が残らないように十分に乾燥させます。塗装面の保護には車用ワックスの定期的な使用が有効です。塗装面にキズがつき鉄の素材が露出すると短期間に赤錆が発生し、長期間放置すると塗装膜の内側に広範囲に錆びが進行しその結果塗装面の剥離が起こりますので、直ちに同色のタッチアップペイントで補修します。この際目の細かいスチールウールで軽く塗装部分をサンディングすると塗装の定着性が増します。塗装は薄く塗り、十分乾燥させた後塗装を繰り返すと強固な塗装に仕上がります。

ステンレス製品

ステンレスはクロムとマンガンを含む鉄の合金で屋外使用でも錆の発生が起こりにくいお手入れが楽な金属です。クリーニングはできるだけ頻繁に行い、柔らかい布やスポンジに中性洗剤を含ませて汚れを洗い落とし、その後水洗いで洗剤を完全に流し取った後、水滴が残らないように十分に乾燥させます。塗装面の保護には車用ワックスの定期的な使用が有効です。鉄粉が飛来しステンレスの表面に付着して赤錆が発生した場合（もらい錆）や、微小な穴が空く錆が発生した場合は、速やかに取り除いて下さい。放置すると錆が拡大する可能性があります。スコッチブライトや目の粗くないスクラブパッドを金属の筋目方向にやさしく動かし錆を取ります。強く押し付けて動かし磨くと光沢が出ます。筋目と異なる方向や円を描く方向に動かすと元の光沢と異なる仕上げとなりますので、目立たない箇所で試し磨きをすることをおすすめします。海岸に近い場所やインドアプールでの使用では、塩素の堆積による赤錆が発生する可能性がありますので、より頻繁なクリーニングを行ってください。海岸に近い場所で使用する場合は、SUS316のEP仕上げやポリエステル粉体塗装仕上げの製品をおすすめします。

レジン(樹脂)製品

レジン製品は雨やほこりなどの汚れのお手入れが簡単なので屋外家具に適した素材です。しかし屋外では大量の太陽光にさらされることとなりますが、その中でも紫外線はレジン製品に過酷な影響を与えますので、適切な紫外線安定剤を添加した製品が最適です。メンテナンスは汚れやほこりが沈着しないように柔らかい布やスポンジに含ませた中性洗剤で洗い、水洗い後自然乾燥するだけで十分です。クレンザーや目の粗い材料で磨くと表面に細かい凹凸ができ、ほこりが溜まり取れにくくなりますので避けてください。紫外線により樹脂の劣化が起こるとやはり表面状態が粗くなり汚れが沈着しやすくなります。強固な汚れや紫外線による劣化が起こってしまった場合はレジン・クリーナー（ゴールデン ケア社製）で汚れを落とし、水洗い後自然乾燥させます。この状態では汚れが落ちてきれいになっていますが、表面はほこりを吸着しやすい状態になっていますので短期間に元の状態に戻ってしまいます。クリーニング後長期間にわたり美しい状態を保つためにはレジン・ワックスポリッシュ（ゴールデン ケア社製）を柔らかい布で塗布します。レジン・ワックスポリッシュには紫外線を防ぐ成分が入っていますので、経年による劣化を遅らせレジン製品の耐久性を伸ばします。

チーク製品

I チーク

チーク(学術名:Tectona grandis)はミャンマー、タイ、インド、インドネシア原産のクマツヅラ科の広葉樹で光沢があつて美しく、木質は非常に強くそれでいて加工が容易なため高級家具材として世界中で利用されています。

チークはオイル分を多く含む木なので、雨などによる水分が内部に侵攻するのを防ぎ、日照による乾燥にも強く、塗装や表面処理が無くても屋外で雨ざらしで使用されても腐食やそり、たわみなどが起こりにくい、あらゆる木材の中で最も屋外家具に適した木です。

チーク家具の歴史

16世紀に英国が東インド会社を設立しインドからビルマに香辛料を求めて進出した時に現地人が非常に固くて水に強い木を船に使用しているのを目をつけ、本国に持ち帰り船の建造材、特に甲板(デッキ)に大量に使用し始めました。その後英国では産業革命が起こり蒸気機関が発明され、鉄鋼の大量生産が始まり鋼板船体の蒸気船(スティーマー)時代へと移行しましたが、チークを使った木造船を解体したところ表面が変色している以外は全く腐食もなく強度低下も無かったことから、廃棄するには余りにももったいないということで公園のベンチなど家具材として使用されたといわれています。蒸気タービンが開発されるとタイタニック号など大西洋を航海する豪華客船が数々就航しましたが、長旅を快適に過ごすためチークの甲板でくつろぐためのデッキチェアやスティーマーデッキチェアといった現在も使用する家具の語源となる屋外家具がチーク材で作られました。チークはオイル分を多く含むため水に対する耐食性が高いだけでなく、このオイル分が釘やボルトの鉄を錆びにくくする効果も持つので船の甲板や内装材に最適なのです。このようにチーク家具はベンチやデッキチェアなどの屋外家具としてイギリスで生産が始まりました。その後、そのしっとりとした肌触りや色合いが、塗装や人工的な表面処理無しでも美しい光沢を表現できることから、チェア、テーブル、キャビネットなど屋内家具として世界中で使用されるようになりましたが、デンマークなどの北欧モダン家具デザイナーや工房は好んでチークを使用しました。

チーク材の変色

多くの木材と同じようにチーク材も太陽光線中の紫外線に当たることにより変色します。これは木材に含まれるフェノール性物質が、紫外線のエネルギーによって着色物質に変化したり、可視光を吸収しないような物質を生じるためです。チーク家具を屋外で使用すると1ヶ月くらいすると自然木特有のハネーブラウン色が薄くなり始め、6ヶ月ほどでシルバーがかった灰色へと変化します。オイル仕上げをしたチーク家具は未使用時は濃い茶褐色ですが、屋外での使用を開始すると徐々に色が薄くなり始め最終的には無着色のチーク家具と同じくシルバーがかった灰色へと変化します。しかしこれは表面色の変色だけであり、腐食しているわけではないのでチーク材の強度や耐久性には変わりはありません。

チークは木の組織にオイル分を豊富に含みますので、新しい家具の木の表面は非常になめらかでしっとりとした肌合いです。屋外で使用し日光や雨に当たり表面色に変色するのとともに木の表面がザラツとした肌合いになることがあります。これはチークの表面のオイルが蒸発したためですが、内部には十分なオイルを含んでいますので特別のお手入れは不要です。

黒い色の変色がスポット状に現れた場合はその内部組織が湿潤になり、紫外線により変質したオイルを栄養源にするカビ等のバクテリアが繁殖しつつあり、放置すると全面的に黒灰色に変色する可能性があります。黒色変色は通常のチークの健全な変色ではありませんので、ゴールドデンチーク・クリーナー、ゴールドデンチーク・プロテクター等でお手入れすることをおすすめします。

チーク家具のお手入れ

チーク家具は雨や太陽光などにさらされる屋外での過酷な環境にも耐え、腐食やそり、割れが起こりにくいので特別の表面処理は通常必要ありません。汚れやほこりが沈着しないようにぬれ雑巾でふき取って下さい。特にテーブルは食物の脂肪分が付いたり、コーヒーや赤ワインのような濃い色の飲み物がこぼれたりすることがありますので、その場合は直ちにふき取って下さい。放置をすると木材の中の組織に入り込みシミになることがあります。

ダークな色合いのオイル仕上げにするか、ナチュラルな仕上げにするかはお使いになる方の好みですが、どちらの場合も屋外に放置すると時間とともに表面の変色が始まり、最終的にはシルバーがかった灰色になります。

オイル仕上げのダークな色合いを維持したい、また一旦変色をしたチーク家具を当初の色調に復元したい場合はチーク家具専用お手入れ用品(オランダ ゴールデン ケア社製)をご使用下さい。

経年により表面の肌合いが滑らかさを失いざらついた状態になりますが、チークの耐久性には変化はありません。もし当初のような滑らかな肌合いを復元したい場合はサンドペーパーで表面を磨き取ります。このとき電動サンダーで強く磨きますと摩擦熱で表面に黒色のシミをつける事がありますので手作業でする事をおすすめします。

●ゴールデンチーク・クリーナー

シルバーグレーや黒褐色に変色したチークを元通りのハネーブラウン色に戻したい時はクリーナーを使用します。クリーナーは紫外線により変質したチーク表面の薄膜層を溶けて剥離しやすい状態にしますので、ブラシで変色層を取り去り、水洗いして乾燥させると当初のチークの色調が蘇ります。

●ゴールデンチーク・プロテクター

プロテクターはチーク本来の自然な暖かいハネーブラウン色を長期間に渡り保持し、チーク家具が太陽光線によりシルバーグレー色になるのを防ぎます。通常のチークオイルで仕上げられた家具は屋外で暴露されると通常2-3ヶ月で白っぽく変色し、当初の色調を保つ為には1ヶ月ごとにチークオイルを塗布する必要がありましたが、プロテクターは6ヶ月ごとの塗布で当初の色調を保持します。

●ゴールデンチーク・パチナイザー

パチナイザーは美しく変色したチークのシルバーグレー色を長期間保ち、カビの発生による黒色変化やコケの発生による緑色変化を防ぎます。パチナイザーは数種類配合された水溶性ポリマーでほこりや水気をはじき、その後のお手入れの手数を省き、約2年間効果を持続します。

ウエルザリッツ天板

ウエルザリッツは屋外テーブル用に開発された手入れの楽なパーティクルボードの天板で、含水率が天然木に比べ非常に低いので雨にあたっても水を含んで膨張しません。表面は硬度の高いメラミン樹脂で覆われていますので擦り傷も付きにくく、熱や薬品にも強い天板で定期的なクリーニングだけで長くお使いいただけます。クリーニング方法は柔らかい布やスポンジに中性洗剤を含ませて汚れを洗い落とし、その後水洗いで洗剤を完全に流しとり、十分に乾燥させます。クレンザーを含む洗剤や、研磨材は使用しないで下さい。

HPL天板

HPLはフェノール樹脂を含浸させたクラフト紙を何枚も重ね高温、高圧で積層した素材で、含水率が低いので雨にあたっても水を含んで膨張しません。表面は硬度の高いメラミン樹脂で覆われていますので擦り傷も付きにくく、熱や薬品にも強い天板で定期的なクリーニングだけで長くお使いいただけます。クリーニング方法は柔らかい布やスポンジに中性洗剤を含ませて汚れを洗い落とし、その後水洗いで洗剤を完全に流しとり、十分に乾燥させます。クレンザーを含む洗剤や、研磨材は使用しないで下さい。

セラミック天板

セラミックは無機物を高温で焼成した材料で、硬度に優れ、熱、薬品、紫外線に非常に強い屋外用に最適な材料です。セラミック天板は必ず2人で垂直に持ち、衝撃を避け、エッジ部にひずみが生じないように取り扱って下さい。水平に持つと、天板中心部で割れが発生することがあります。クリーニング方法は柔らかい布やスポンジに中性洗剤を含ませて汚れを洗い落とし、その後水洗いで洗剤を完全に流しとり、十分に乾燥させます。クレンザーを含む洗剤や、研磨材は使用しないで下さい。

バティライン

バティラインはポリエステルファイバーの強度にPVCコーティングで紫外線耐候性を付加した通気性に優れたメッシュ素材です。弾力性と復元性に富む生地は体重負荷に順応し快適な座り心地を提供します。クリーニング方法は柔らかい布やスポンジに中性洗剤を含ませて汚れを洗い落とし、その後水洗いで洗剤を完全に流しとり、十分に乾燥させます。クレンザーを含む洗剤や、研磨材は使用しないで下さい。泡状の洗剤はメッシュの中に残留しやすいので避けて下さい。頑固な汚れの場合にはゴールドデン ケア社製ウーブンクリーナーのご使用をおすすめします。

デドンファイバー

デドンファイバーはドイツ デドン社が開発した紫外線、塩水、極度の温度変化にも強く、無公害性でリサイクル可能な画期的な高密度ポリエチレンファイバーです。メンテナンスは汚れやほこりが沈着しないように、できるだけ頻度多く、柔らかい布やスポンジに含ませた中性洗剤で洗い、水洗い後自然乾燥するだけで十分です。頑固な汚れの場合にはゴールドデン ケア社製ウーブンクリーナーのご使用をおすすめします。

ROM(ポリウッド)

ROMはポリエチレンに木粉を混入し天然木の風合いと性質を持ちながら変色の起こりにくい屋外家具用に開発された樹脂押出し材です。クリーニング方法は柔らかい布やスポンジに中性洗剤を含ませて汚れを洗い落とし、その後水洗いで洗剤を完全に流しとり、十分に乾燥させます。油やワインがこぼれた時はすぐにふき取って下さい。長時間放置するとシミになることがあります。シミが発生した場合は付属のブラシで木目方向に軽くこすって汚れを取り除いて下さい。頑固な汚れの場合にはゴールドデン ケア社製のポリウッドクリーナー、ポリウッドプロテクターのご使用をおすすめします。

ロープ

屋外家具に使用されるロープはポリエステルファイバーにPVCコーティングやオレフィンファイバーで覆った素材で雨や霜、紫外線への耐候性に優れ、ソフトでナチュラルな感触の素材です。クリーニング方法は柔らかい布やスポンジに中性洗剤を含ませて汚れを洗い落とし、その後水洗いで洗剤を完全に流しとり、十分に乾燥させます。クレンザーを含む洗剤や、研磨材は使用しないで下さい。泡状の洗剤は編み目の中に残留しやすいので避けて下さい。頑固な汚れの場合にはゴールドン ケア社製ファブリッククリーナー、ファブリックプロテクターのご使用をおすすめします。

パラソル

パラソルご使用時には必ずパラソルの支柱がパラソルベースにしっかりと固定されていることをご確認下さい。締め付けが不十分な場合、強風で吹き飛ぶ危険があります。パラソルベースはパラソルの天幕のサイズに応じた十分な重量の物をご使用下さい。重量が不足した場合強風により転倒する危険があります。

風の向き、強さは絶えず変化します。風が強いと感じた時は直ちにパラソルを閉じて下さい。台風等の強風が予想される時はパラソルをベースから抜き安全な場所に格納して下さい。

天幕が雨等で濡れた後は、パラソルを開いて十分乾燥してから閉じて保管して下さい。濡れた状態で天幕を閉じて放置するとカビが発生する原因となります。天幕のクリーニングはパラソルをベースに固定し、開いた状態で行って下さい。クリーニングの方法はアウトドアファブリックのクリーニングと同様です。クリーニングが終わったら、風通しの良い場所で天幕を開いたままにし、完全に乾いたことを確認してから閉じて下さい。

アウトドアクッション

Ⅰ アウターカバー

アウトドアクッションのアウターカバーはカラーやパターンによりアウトドアリビングのデザインに重要な影響を与えるエレメントですが、ただルックスが良いだけで選ぶべきものではありません。アウトドアクッションカバーに最適なファブリックは100パーセント原着染のアクリル生地でその代表的なブランドはサンブレラです。原着染とは原材料を溶かす時点で着色する方法で繊維1本、1本の中まで着色されていますので色落ちが起こりにくい染め方です。このようにして作られた繊維を紡績した糸で織られた生地は天然のコットンのように柔らかでいて、紫外線に対する色褪せにも抜群の性能を発揮し、汚れや、カビが付きにくく、また汚れがついても最も洗濯が容易な屋外用に最適なファブリックです。この生地は織物なので通気性があり防水ではありませんが、撥水加工が施されています。

Ⅰ 中綿

屋外用クッションの中綿にはいくつかのタイプがあり、それぞれが屋外で快適に使用できる特徴を備えています。

●ブリーザブルインナーカバータイプ

このタイプはコアにインドア用ウレタンフォームを使用していますので高級インドア用クッションと同等の快適さと耐久性、弾性復元性を持っています。コアのウレタンフォームはフワフワのポリエステル綿で覆われますのでさらなる快適な座り心地が体験できます。そして最大の特徴はこれを通気性と防水性を併せ持つ特殊なインナーカバーに閉じ込めています。アウターカバーは撥水加工が施されていますが長時間、大量の雨の場合中に浸透することがありますが、インナーカバーは防水ですので、その中のフォームには雨が浸透しないように設計されています。しかし通気性は確保されていますので、座った時には中の空気が外にはき出され、立ち上がると外の空気が中に入り快適なクッション性と復元性を持ち合わせます。

●クイックドライフォームタイプ

インドア用ウレタンフォームに水が浸入すると内部に水分を保持し乾燥するのに長時間かかる問題があります。それを解決する目的で開発されたのがクイックドライフォームと呼ばれる、巨大多孔質のウレタンフォームです。このフォームでは内部に水分が保持されず、重力方向に水が排出され短時間で乾燥します。このフォームには防水性のインナーカバーは不要でポリエステル綿で覆うことにより快適な座り心地が実現できます。

Ⅰ 保護カバー

屋外用クッションは紫外線、雨に強いファブリックと中綿で製作されていますが、いつも快適にご使用いただくために、長期間ご使用にならない時は室内での保管や、保護カバーのご使用をおすすめします。保護カバーはクッションを雨から守り、紫外線を防ぐだけでなくあらゆる汚れの防止になります。但し、クッションが濡れた状態で保護カバーをかけると中の水分が乾くのに時間がかかりカビが発生する可能性がありますので、必ず十分乾燥した状態で保護カバーをご使用下さい。

Ⅰ 雨に濡れた後

クッションが雨に濡れた後はできるだけ短時間で乾燥させることが重要です。シートクッションはファスナーを開け、ファスナー面が下になるように垂直にたてかけて短時間に中の水分を排出し、風通しを良くしてできるだけ早く乾かすことにより、次回も快適な使用ができると共に、カビの発生を防ぐことになります。

アウトドアファブリック

アウトドアクッションやアウトドアベッドの日よけキャノピー、パラソルのファブリックはカラーやパターンによりアウトドアリビングのデザインに重要な影響を与えるエレメントですが、ただ見た目が良いだけで選択すべきものではありません。屋外には、太陽光や雨、雪、ホコリといった屋内とは比べられないくらい過酷な要素があります。アウトドア環境に最も適して最も耐久性のあるファブリックは100パーセント原着染のアクリル、ポリエステル、オレフィン生地ですがその代表的なブランドはサンプルラです。原着染とは原材料を溶かす時点で着色する方法で繊維1本、1本の中まで着色されていますので色落ちが起こりにくい染め方です。このようにして作られた繊維を紡績した糸で織られた生地は天然のコットンのように柔らかでいて、紫外線に対する色褪せにも抜群の性能を発揮し、汚れや、カビが付きにくく、また汚れがついても最も洗濯が容易な屋外用に最適なファブリックです。この生地は織物なので通気性があり防水ではありませんが、撥水加工が施されています。

1 お手入れ

アウトドアファブリックのお手入れで最も重要なのは汚れが発生すれば直ちに除去することです。土などの汚れが付着した場合はそれが生地に沈着する前にブラシで除去し、濡れた場合は直ちに拭き取ります。早ければ早いほど除去は簡単になります。頑固な汚れを落とし、その後撥水効果を持続させるゴールデン ケア社製ファブリッククリーナー、ファブリックプロテクターのご使用をおすすめします。

まず最初に、液体がこぼれた時はこすらず、乾いたきれいな布で拭き取ります。油分のこぼれの場合はコーンスターチ等の吸収性のある粉をかけ、一方向に拭き取ります。その後、水に溶かした中性洗剤をスプレーし、その後洗剤分の残留が無いよう水で洗い流し、通気を良くし乾燥させます。

Ⅰそれでも汚れが取れない場合

●取り外しのできるファブリックの場合

4分の1カップの中性洗剤を3リットルのぬるま湯で薄めた液に浸け、スポンジか柔らかいブラシで汚れをこすり取る。その後洗剤の残留が起らないように水で洗い流し通気のいい場所で乾かして下さい。

●ファブリックが取り外せない場合

4分の1カップの中性洗剤を3リットルのぬるま湯で薄めた液を用意し、柔らかいブラシで洗剤の液がファブリックに浸透するようにこする。その後洗剤の残留が起らないように水で洗い流し通気のいい場所で乾かして下さい。

●カビが発生した場合

屋外用のファブリックはカビが生えにくい処理をしていますが、ファブリックに付着した埃や異物にカビが発生することがあります。カビを除去するには1カップの漂白剤と4分の1カップの中性洗剤を3リットルの水で薄めた液を用意し、ファブリック全面にスプレーし、液が浸透するまで15分間放置する。その後スポンジや柔らかいブラシでファブリック全面を軽くこする。その後洗剤の残留が起らないように水で洗い流し通気のいい場所で乾かす。全面的にクリーニングしないと輪染みになることがあるので注意して下さい。

●クリーニング後の処理

屋外用ファブリックは撥水处理加工が施されていますが、経年により、または全面的なクリーニングの後にはその効果が薄れることがありますので、撥水スプレーの塗布をおすすめします。上記のクリーニングの後完全に乾燥させ、換気された環境で容器に示された注意書きに従いスプレーして下さい。

塗装

屋外家具のフレームに使用されるポリエステル粉体塗装は高い紫外線耐候性を有し、長期にわたり色褪せませんが、定期的なクリーニングで汚れを落とすことにより美観を長持ちできます。

4分の1カップの中性洗剤を3リットルのぬるま湯で薄めた液を用意し、スポンジで汚れを取り、その後洗剤の残留が起らないように水で洗い流す。クレンザーを含むクリーナーの使用は塗装膜を痛める原因となります。光沢のある仕上げには自動車用ワックスの使用が最適です。

海岸に近いエリアでは塗装面に塩分が、プールサイドでは塩素分の堆積が発生しますので定期的なクリーニングをおすすめします。

お手入れ用品

●ゴールデンケア クリーナー

ゴールデン ケア社は1995年にオランダで設立されたチーク家具および屋外家具用のクリーナーの世界初の専門メーカーです。チーク家具をその本来の美しい色調を保ち永くご愛用いただくためのクリーニング用品を始めアルミ、プラスチック家具用など専門メーカーならではのきめ細かなお手入れ用品をラインアップしています。ゴールデンケア社の製品はすべて環境にやさしい水溶性で、毒性がありません。



ゴールデンチーク・クリーナー ¥4,200
 ゴールデンチーク・プロテクター ¥6,000
 ゴールデンチーク・パティナイザー ¥6,000



アル・リストーラー ¥2,000
 アル・プロテクター ¥4,800



レジン・クリーナー ¥2,000
 レジン・クリーナー
 ワックスポリッシュ ¥2,500



ポリウッドクリーナー ¥2,500
 ポリウッドプロテクター ¥5,000



ウーヴン・クリーナー ¥3,000



ファブリック・プロテクター ¥5,000
 ファブリック・クリーナー ¥3,000

●エアロカバー

通常ホゴカバーで覆われた家具の表面には温度変化により結露が発生しやすくなりカビの原因となります。エアロカバーは呼吸する特殊な膜を採用し、内部に発生した湿気を外部に排出するとともに、外部から雨、ホコリ、土の侵入を防ぎます。エアロカバーは原着染めファブリックを使用していますので長期の屋外使用でも色調を保ちます。

紫外線対候性に優れた呼吸するプロテクティブカバー



BEFORE



AFTER



エアロカバー-200×190×85 ¥35,000
 エアロカバー-130×130×85 ¥26,000
 エアロカバー-170×100×70 ¥25,000
 エアロカバー-250×100×70 ¥32,000



エアロカバー-L255×255×100×70 ¥42,000
 エアロカバー-L300×300×100×70 ¥55,000
 エアロカバー-φ200×85 ¥35,000
 エアロカバー-255×255×70 ¥42,000
 エアロカバー-300×300×70 ¥46,000
 エアロカバー-300×110×70 ¥37,000

JOY OF VISIT

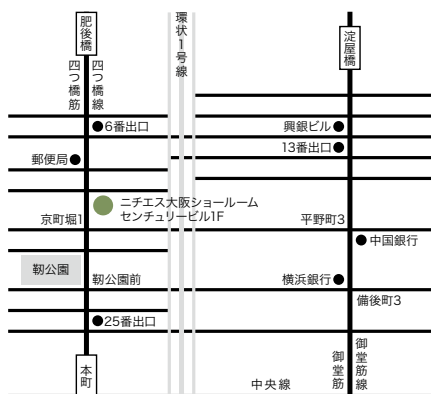
ニチエス 大阪ショールーム



大阪市西区京町堀1-4-16 センチュリービル1階

TEL:06-7711-1213

営業/月曜日～日曜日(祝祭日を除く)午前11時～午後5時



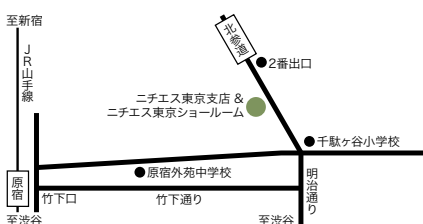
ニチエス 東京ショールーム



東京都渋谷区千駄ヶ谷3-50-11 明星ビル1階

TEL:03-5413-3341

営業/月曜日～日曜日(祝祭日を除く)午前11時～午後5時



www.nichiesu.com

JOY OF OUTDOOR LIVING

NICHIESU

本社 〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-16 センチュリービル1階 Tel.06-7711-1213 Fax.06-7711-1214

東京支店 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-50-11 明星ビル1階 Tel.03-5413-3341 Fax.03-5413-0020